

ル重要ノコトアリソハ數學教授ノ際ニモ常ニ深ク生徒後日ニ於ケル職業上ノ必要ヲ顧慮スベキコト之ナリ從ツテ例ヘバ幾何ニ於テハ演繹的學問的方法ト共ニ直觀的實驗的方法ヲモ組ミ合セテ授ケ以テ他日小學校ニ於テ幾何上ノ諸問題ヲ説明スル時ノ準備ヲナシ又算術ニ於テハ正確ニ問題ヲ解カシムルト共ニ其ノ理由説明ノ練習ヲナシ又課題ヲ作ルコトニ慣レシムルヲ要ス本委員ハ某師範學校ニ於テハ三角錐ノ體積ニ關スル定理ノ授業ヲ參觀シ某女子師範學校ニ於テハ圓周率ノ計算法ヲ授クルヲ參觀セシガ其ノ教授スル所ハ何レモ可ナリ明瞭ナリシモ其説明タルヤ學問的方法ニ限ラレ更ニ進ミテ之ヲ小學校ノ兒童ニ授クトセバ如何ニ説明スベキカニ就キテハ毫モ注意スルコトナカリシハ甚ダ遺憾トスル所ナリ或ハカクノ如キハ算術教授法ノ時間ニ讓ルトノ考ナリシヤモ知ルベカラズト雖モ科學的方法ト連關シテ説明スル時ハ如何ニ幾何學ヲ小學校ノ算術ニ應用スベキカヲ最モ適切ニ敎示スルコトヲ得ベク其効果ノ大ナルハ別ニ分割シテ授クルノ比ニアラザルヲ知ルナリ。(以下次號) (江 澤)

物理學ノノーベル賞與

抑も此の賞與たるや社會に最大なる幸福を齎したる者に對し毎年贈らるゝものにして、1896年爆發藥の發明者アルフレッド、ノーベル氏は遺産九百萬弗を寄附し其の利子を五分し賞與として物理學化學生理學又は醫學に關し發明或は發見したる者又は文學及國際平和に關し偉勳ある者に毎年贈呈する事としたり。

1901年より1906年に到る此會設立の初期にては物質組織に關する學説は公認せらるゝもの多く、レントゲン氏のエックス光線の發見、輻射がウラニウムに依りて發生せらるゝと云ふ原理、キュリー夫妻のラヂウムの發見、トムソン氏のレントゲン線及ベツケレル線は同一なりと云ふ説等の如きは物質に關する最近學説の基礎となり、是等の人々は夫れ夫れ賞金を贈られたり。其後磁場に於て氣體のスペクトラムの擴大することを發見せしゼーマン氏、光は原子の電荷の移動に基づくと云ふ説を唱へ且電氣の嶄新なる理論を述べしロレンツ氏及びアルゴンを發見し且つレーナード氏と共に電子の本態を發見せしロードレーレー諸氏も亦此名譽を荷はれたり。

1907年米人にして始めて賞與を得たる者は、マイケル

ソン氏なり。同氏は獨逸に生れ米國桑港にて初等教育を受け、其後アンナボリスの北米合衆國海軍兵學校を卒業したる人にして、光の波長につき多大の研究をなし干涉計なるものを作り佛國の標準メートルの長さを光の波長の倍數にて示したり。又リツブマン氏は光の干涉の原理に基づき天然色寫眞を發明せし爲めに1908年賞與を得たり。1909年マルコニー及ブラウン兩氏は無線電信に於ける功績により此賞與を得たるが、特にブラウン氏は目的の方向にのみ送信し得る無線電信を完成し且つ電波のエネルギーを増加する方法を案出したる人なり。

ファンデルワールス氏は低温度の研究をなし1910年賞を得たるが、瓦斯及液體の變遷に關する研究は從來永久瓦斯と稱せられしものを液化せしむることに與りて功あり、遂に同氏の研究はオンネス氏をしてヘリウムを液化せしめ、絶對温度の零度に近き低温度を生せしめたる功勞に依り同氏は1913年賞を得たり。

1911年に賞を得たるウイン氏は陽電子の質量を決定し、光の種々なる波長に對するエネルギーの分配を研究し以て光、電氣、物質に關する學說を統一するを得たり。

瑞典に於て1912年賞を得し人はグスタフダレン氏一人のみなるが同氏は浮標及燈臺のアセチリン瓦斯點燈

用の自動調整機を發明し以て航海をして安全ならしめたり。

無線電信、自動瓦斯點火、白熱燈、電氣機械等は社會に莫大なる利益を與ふるに相違なしと雖も宇宙の謎 (Riddle of the universe) を解説する發見例へば電氣の本性に關する最近の説の如く人心を新にするものなければなり。

(1915年11月13日 ジャーナル、オブ、エレクトリシチー)

